

## 調査票の記入について

- 1 「目標」、「主要課題」、「施策の方向」、「施策の概要」、「具体的事業」及び「担当課」については、「くまがや男女共同参画推進プラン」（平成30年度までを計画期間とする前計画）に基づくものです。
- 2 「事業開始」には、当該事業を開始した年度を記入してください（空欄可）。
- 3 「事業の成果指標」、「成果指標の説明」、「目標値」、「H30年度」
  - ・「事業の成果指標」には、本プランにおける「目標」や「施策の概要」に照らして当該事業の成果指標となるものを1、2個程度設定してください。前回設定した成果指標より適当なものが考えられる場合は、適宜変更してください。  
例）△△講座の実施回数、△△祭への参加者数、△△制度の利用者数、～と考える人の割合、△△の認知度、△△率 など。  
数値等による成果指標の設定が難しい事業の場合は、「どんな状態になれば男女共同参画推進プランにおける当該事業の目標が達成できた状態であるのか」を成果指標として記入してください。  
例）相談事業  
「相談に対し適切なアドバイスや支援ができ、すべての相談者が満足していること」
  - ・「成果指標の説明」には、成果指標の具体的内容を必要に応じ記入してください。  
例）□□の割合、□□の設置数、□□の人数、利用件数÷利用可能件数（利用率） など
  - ・「目標値」には、具体的な目標数値がある場合はその数値を、目標数値がない場合は望ましい方向等（「増加」、「減少」、「維持」など）を記入してください。「目標値」が、年度ごとの年間目標値ではなく、ある目標年度までの目標値である場合は、目標値の後に目標年度も併せて記入してください。
  - ・「H30年度」には、設定した成果指標における平成30年度事業の結果（実績）を記入してください。
- 4 「H30年度実施事業の内容・経費」には、昨年度の実施事業について、数値等を用いるなどして具体的に実施内容を記入してください。可能な場合は、事業の対象者数（男女別）、経費を記入してください。
- 5 「H30年度実施事業のチェック」には、5項目のチェックポイントについて、男女共同参画の視点に立った配慮ができていたと判断できる場合は、項目のチェック欄に「○」を記入してください。各項目における「男女共同参画に配慮した内容」の考え方の例は、次のとおりです。
  - (1) 「事業の対象や現状の男女別把握」
    - ・相談件数、対象職員数、利用者数などについて、男女別にデータを把握した。
    - ・男女別アンケートを実施し、ニーズの把握や今後の事業展開に役立てた。
  - (2) 「企画、立案、実施への男女共同参画」
    - ・条例や計画の策定等において、男女の区別なく市民の意見を聞いた。

- ・女性、男性双方の会員がいる関係団体から意見を聞いた。
- ・審議会、委員会、協議会等、各種会議の構成委員に女性を積極的に登用した。
- ・事業の実施や公的広報物の作成において、女性職員、男性職員双方の意見を反映させた。
- ・会議等の委員は、女性、男性に偏りが無いよう委嘱した。
- ・地域で実施する事業等について、女性、男性双方の市民が参加し、意見を述べた。

(3) 「女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮」

- ・各種講座やイベントなどの申込に、インターネットを活用し、いつでも閲覧、参照できるようにした。
- ・事業や相談、研修会等を休日や夜間、もしくは日中と夜間両方の時間帯に実施するなど、女性、男性双方が参加しやすいよう時間帯に配慮した。
- ・市民を対象とする事業等を実施する際には、可能な限り託児サービスを提供したり、保育士を手配するなど子育て世代の参加に配慮した。

(4) 「事業の方向性における男女共同参画への配慮」

- ・事業を実施することにより、固定的な性別役割分担意識の解消に役立った。
- ・事業の分野における女性、男性の参画が進むよう支援、助言した。

(5) 「事業の効果への寄与」

- ・審議会等における女性の人材育成を進め、男女共同参画の推進に寄与した。
- ・事業を実施することにより、男女を問わずワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献した。
- ・各種講座や研修等を実施することにより、男女が相互に尊重し合う社会の実現に向けた意識向上が図られた。

6 「H30年度実施事業の評価総括」には、平成30年度結果、これまでの実績等から、本プランにおける当該事業の「目標」や「施策の概要」に照らし、実施した事業を評価して該当する点数（0～5点）を記入してください（当該事業を実施しなかった場合は「X」を記入）。また、右欄には、そのように評価した理由等を記入してください。

7 「R元年度以降の事業取組と今後の課題」には、本年度以降の事業取組をA～Iから選択して記入してください。また、右欄には、今後の事業取組や課題などを記入してください。

## ○ 留意点

1 異なる「目標」や「施策の概要」にて、同一の事業が複数回掲載されている場合がありますが、各々の「目標」や「施策の概要」の視点で当該事業を検討し、それぞれに回答してください。

2 「記入例」は一例ですので、各事業に適したものとしてください。

## 3 所管課「関係各課」事業

当該プランにおいて、事業所管課を「関係各課」と表記している事業については、各課で確認していただき、該当事業がある場合に回答をいただくこととなっています。

なお、「審議会等への女性の登用推進と女性がない審議会等の解消」（事業 No. 197）については、女性登用状況の報告等による把握のため、回答不要とします。

- ・ 事業 No. 198 「女性人材リストの拡充と活用」

委員等の一部を本市の「女性人材リスト」から選考することが選択肢の一つとなりえる附属機関や協議会等を所管する課が調査対象となります。

- ・ 事業 No. 180 「各課主催事業での託児の実施推進」
- ・ 事業 No. 186 「ユニバーサルデザインの普及・啓発」
- ・ 事業 No. 187 「バリアフリー化事業の促進」
- ・ 事業 No. 200 「社会教育関係団体等への女性の登用促進」
- ・ 事業 No. 227 「被害者に関する個人情報の保護」